

「自動車産業の振興」 (H18. 11~)

【幹 事】福岡県 商工部 新産業振興課 自動車産業振興室

【参加県】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

目的

世界的な生産拠点間競争が激化する中、九州各県が一体となって、自動車の生産から開発までを一貫して担える先進生産拠点を目指し、自動車産業の一層の振興に取り組む。

取組内容・成果

「九州自動車・二輪車産業振興会議」による取組

H18. 11 「九州自動車産業振興連携会議」 設立 → H22. 8 「九州自動車・二輪車産業振興会議」へ発展的に改組

《委員》九州7県商工担当部長

《顧問》九州経済産業局、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州、本田技研工業熊本製作所、川崎重工業

○ 振興会議事業の内容

- ・ 地元企業の取引拡大支援のため、商談会の開催や各県自動車産業アドバイザーの県域を越えた支援を実施。
- ・ 部品比率が高まっている電子・電装分野への参入促進のための商談会を開催。
- ・ 地元企業の技術者等の人材育成のため、各県で各種講習会や研修会等を実施するとともに、相互参加を促進。
- ・ 地元企業をカーメーカーなどにPRするため、九州の自動車関連企業やカーエレクトロニクス関連企業を掲載したマップを作成。また、これらの企業を検索できるデータベースを作成し、各県ホームページに掲載。

《九州の自動車生産台数の推移》



《九州における自動車・二輪車産業の集積》



《九州に立地する自動車・二輪車メーカー等の概要》

	日産自動車九州	日産車体九州	トヨタ自動車九州			ダイハツ九州		本田技研工業熊本製作所	株式会社オリス
生産開始	1976年12月 (車体生産)	2008年12月	1992年12月	2005年12月	2008年8月	2004年12月	2008年8月	1976年1月	2005年3月 (設立)
敷地面積 (3ヶ所日産車体九州内17ha)	336.2ha	113ha	113ha	33ha	34ha	130ha	17.4ha (ダイハツ九州内)	169ha	209ha
従業員数	約4,200人	約2,150人	約8,000人	約2,100人	約2,100人	約3,000人	約400人	約3,000人	—
生産能力	53万台	17万台	43万台	44万台	22.5万台	46万台	32.4万台	二輪車 40万台	—
備 考	日産自動車国内最大拠点	08年12月 最新鋭車体工場 稼働	06年9月 新工場 (レクサスライン) 稼働	2008年エンジン、3.5Lエンジンを生産	ハイブリッド 駆動ユニットを生産	07年11月 新工場稼働	ダイハツグループ 乗用車のエンジン生産工場	ホンダ国内唯一の二輪車生産拠点	川崎重工業の製作開発拠点

○ 成果

カーメーカー本社における商談会など、一県単独では実施が困難であったり、効率的な開催が見込めない事業に、九州全体で取り組むことで、多くの企業を紹介できるようになる等、注目度の高い効果的な事業の実施が可能となった。

- ➡ ① 合同商談会の開催 九州自動車部品現調化促進商談会 地元企業 50社参加 商談成立 2件
 H29年度実績 新技術・新工法展示商談会 地元企業 53社出席 商談成立 7件
 九州カーエレクトロニクス展示商談会 地元企業 31社出席 商談成立 0件

- ➡ ② 九州各県の自動車産業アドバイザーの指導技術向上及び県域を越えた相互派遣を実施。
 H29年度実績: アドバイザー連絡会議の開催(開催地: 熊本県)

- ➡ ③ 九州の自動車関連企業立地マップ(企業数 1,167社)、データベース(企業数 987社)の作成。
 九州のカーエレクトロニクス関連企業立地マップ(企業数 330社)、データベース(企業数 232社)の作成。

今後の課題・取組

- ・ 産学官連携の一層の推進による地元企業の開発力の強化
- ・ 部品比率が高まっている電子・電装分野への参入促進
- ・ これらを担う人材の育成・確保